県立横浜明朋高等学校 HP

授業の様子

日時	2026 年6月5日（金）：１・２限［90 分］
教科（科目）	芸術（書道Ⅱ）
履修年次／単位数	２年次以降／２単位

①　学習テーマ

甲骨文を書く

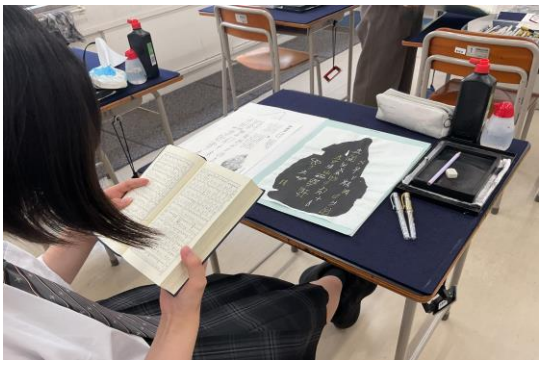
②　授業担当教員よりメッセージ

甲骨文は現存する最古の漢字といわれ、占いのために用いられた文字です。造形的にもおもしろい形があり、現代の高校生がどのような表現をするか新しい試みです。

３　授業の様子



甲骨文の特徴や成り立ちを感じながら、クレヨンや金銀のペンも取り入れて色の選び方を工夫し、文字の大きさや配置について考えながら、一文字ごとに変化をつけて丁寧に表現していました。それぞれの文字に異なる個性や味わいがあり、試行錯誤しながら意欲的に取り組む姿が見られ、書くことを楽しむ様子がうかがえました。



甲骨文を書き上げた後、生徒たちは書道辞典を手に取り、字形や成り立ちを確かめながら理解を深めていました。自分が書いた文字と辞書の字を見比べることで、新たな発見や気づきを得ている様子が見られ、学びを広げる姿が印象的でした。また、主体的に調べようとする意欲も感じられました。

４　生徒の感想

甲骨文を書くにあたって、どのような色を使うかや文字の大きさ、配置について考えるようにして、一文字ずつ変化をつけて書くようにしました。一文字ずつに特徴や違いがあって、書いていて楽しかったです。